

くしろ市議会だより

お伝え
します

市議会
のこと

平成 24年11月1日

2012 11 NOV

No.31

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)

TEL 31-4581 FAX 23-7679

✉ メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

URL ホームページアドレス
http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html

(次回の12月定例会は、12月5日(水)午前10時
から開会の予定です。)

議会日程

8/24
石炭対策特別委員会
8/31
議会運営委員会

9月定例会 (会期28日間)

9/5
市政報告
提案説明
質疑・一般質問
9/6,7
質疑・一般質問
9/10~13
常任委員会審査
9/14
常任委員会採決
9/18
委員長報告
本会議採決
9/19~21,24,25
決算審査特別委員会審査
10/1
決算審査特別委員会採決
10/2
委員長報告
本会議採決



動物園の人気者、レッサーパンダです。当園にはメスのコトアイと、コトアイのお婿さんとして今年3月に東京都羽村市動物公園からやって来たオスのメイメイの2頭がいます。これからかわいい子どもが生まれるといですね。

9月定例会の概要

釧路市議会9月定例会は、10月2日に閉会しました。8月27日の議案説明会、9月5日から本会議をスタートして、19日からは23年度決算委員会が開かれ、すべての審査を終了しました。9月定例会においては、フィットネスセンターの跡利用も含めた補正予算案や教育委員会委員の任命が提案され議決しています。また今回、一般質問が集中したのは、市長から報告された「独自政策の展開によってプラス成長を目指す」政策プラン、道が示した津波シミュレーションの対応、そして教育問題です。すべての議員が「二問一答方式」で質問に臨み、深まった議論が展開されています。

(文責・梅津則行 議会広報特別委員長)

議会傍聴の感想を紹介します

9月6日、釧路湿原シニア大学4期生の皆さん36人が、本会議を傍聴されました。「まず今年は特別なかもしれないませんが、会議場の暑さにびっくりしました。各議員様も大変だったのではと感じました。私自身の勉強不足なのですが、今、市が直面している問題の多さも感じましたし、特に防災の問題は市民一人ひとりがもっと真剣に考えなければならぬのではと思っております。」との感想をいただきました。今後、傍聴後寄せられた感想を掲載していきたいと考えております。

姉妹都市を親善訪問

姉妹都市等交流促進議員連盟 市議会では、次回12月定例会では、7月25日から27日の日程においても、より多くの市民の同連盟会長・草島守之議員、秋 皆さまが傍聴されますよう、お田慎一議員、松尾和仁議員、森 待ちいたしております。豊議員の4名が鳥取市を、7月 本会議や各委員会は、自由に26日から28日の日程で同連盟副 傍聴していただけますので、開会長・酒巻勝美議員、村上和繁 催日程などについては、お気軽議員、松橋尚文議員、三木均議 に議会事務局(TEL31・4581)員の4名が湯沢市を訪問し、友 へお問い合わせください。

市議会の傍聴にきませんか？

好の絆を深めました。

党派略称説明

自民ク 自民クラブ

市民連 市民連合議員団

公明 公明党議員団

共産党 日本共産党議員団

自新ク 自由新政クラブ

市政ク 市政クラブ

政進会 政進会

本会議 質疑・一般質問

今定例会では、9月5日から3日間にわたり、15人の議員により質疑・一般質問が行われました。今回は一問一答方式を導入してから初めて、質問者全員が一問一答方式を選択しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。(質問順に掲載)



政進会 松永 証明議員

問 合併後のさらなる一体感の醸成に向け、各地域の課題を共有し議論するため、釧路市地域協議会の全体会議を条例に明記すべきではないか。

答 各地域で議論した固有の課題を全体会議の中で共有することは、一体感醸成のために必要であると認識しており、条例に基づく審議の場ではないが、情報共有を図る場として全体会議を開催していきたい。



共産党 石川 明美議員

問 国では22年度から就学援助の費目拡大を行い、クラブ活動費・生徒会費・PTA会費を追加しているが、市としても25年度から費目拡大を実施すべきと考えるがどうか。

答 22年度から追加費目の予算化を検討してきたが、24年度は学校の耐震化など教育環境整備について重点的に予算化した。25年度の予算編成作業の中で、再度議論していきたい。



自民党 三木 均議員

問 都市経営戦略プランの政策プランは、産業振興という面で、取り組みべき共通テーマや各取り組み段階での数値目標がなく、場当たりのものになってしまうのではないか。

答 同プランは、数値目標を掲げ進捗管理を図るものではないが、各種データを把握して主要施策を展開し、評価しながら実践ビジョンに沿った取り組みを進めていくものである。



市民連 大島 毅議員

問 現状で教育委員会または関係機関に対し、いじめに関する相談はあったのか。その件数についても聞きたい。

答 23年度の状況で、教育委員会への相談は55件のうち、いじめに関する相談は4件、また教育研究センターの相談窓口では98件のうち2件であった。



公明 松橋 尚文議員

問 身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児に対し、市として補聴器購入助成を行うべきではないか。

答 軽度・中等度の難聴児に対する助成は一部の府県レベルで実施されているが、市独自の助成は難しいと判断しており、今後の道の動向に注視していきたい。



自新党 戸田 悟議員

問 新生児を障害から守るための血液検査を、現行の6種類のマス法から、提言している26種類のタンデムマス法を導入し、異常を早期発見し適切な治療で予防すべきではないか。

答 新しい検査方法のタンデムマス法は、このたび国の通達により道の指定検査機関での実施が可能となり、市立釧路総合病院でも新生児の正常な発達を願える環境が実現することから、確立した取り組みを進める。



共産党 村上 和繁議員

問 500年間隔地震のハザードマップで示される避難施設には、道が公表した最大クラスの津波予想図では浸水区域に位置するものもあり、地震発生時には常に最大クラスの津波を想定し避難するべきではないか。

答 津波の規模に応じて途中で避難先を変えることは不可能であり、警報発令の際は、最大クラスの津波を想定した避難をするべきと考える。



自民党 山口 光信議員

問 老朽危険家屋問題の解決のために、早急に条例制定など、一歩踏み込んだ対応を行うべきではないか。

答 条例を制定しても実効性が問われること、また、代執行を行って経費の回収が困難となった場合、適正に管理している市民との公平性などの問題があり難しいと考えるが、今後は、他都市の取り組み状況などを注視し、方向性を定めていきたい。



市民連 松尾 和仁議員

問 釧路湿原マラソンには道外から300人超のランナーが参加したが、会場にもっと釧路の食・観光をPRするブースを設置すべきではないか。

答 今大会は、釧路市物産協会の協力で3店舗が出店したが、ここ数年、道内外の参加者が増えてきていることから、釧路の味覚を楽しみ喜んでもらえるようなブースの出店について関係団体と協議していきたい。



共産党 梅津 則行議員

問 釜石市の津波防災教育では「命を守る三原則」を掲げており、釧路市においても参考になると考えるが、どう受け止めるか。

答 釜石の子どもたちは、地震津波発生の仕組みや「自分の判断でとにかく早く、できるだけ高いところへ逃げる」という対処の仕方等を学ぶことで危機意識を高め、安全に避難できたものと受け止めている。



自民党 菅野 猛議員

問 道が公表した最大クラスの津波予想図では、音別地区の市街地全体が水没する恐れがあると示されているが、同地区の避難対策について聞きたい。

答 まずは避難をしてもらうことを最優先とし、避難経路の指定と、自家用車による渋滞を防ぐための駐車場所4カ所の確保を考えており、指定後は地域住民に周知していきたい。



市民連 宮田 回議員

問 くしろ男女平等参画プランでの、セクシャルマイノリティの位置付けと支援の取り組みについて聞きたい。

答 人権尊重は男女平等参画社会の根底をなす基本的理念で、同プランでもうたっている。性的指向や性同一性障害を理由とする差別や偏見の解消は人権問題に関わる場所が大きく、関係機関との連携の中で支援等のあり方を探っていきたい。



市政党 金安 潤子議員

問 教師・児童生徒・保護者が学習計画を明確に可視化でき、授業の進捗状況を測る目安としてシラバスを導入してはどうか。

答 児童生徒・保護者に対して、各学年での学習内容を示していくことは大切であると考えており、現在策定中である「教育推進計画」の中で、シラバスの導入を含め、情報発信の手法について検討していきたい。

※1 シラバスとは、授業などの大まかな学習計画。児童・生徒、保護者などに授業の内容、学習計画を周知させる目的で作成される。

※2 就学援助とは、経済的理由により就学が困難な小・中学生の保護者に対して市が学用品費などを援助する制度。

※3 タンデムマス法とは、新生児の将来障害が出る可能性のある病気を早期に発見し、予防する事業(新生児マス・スクリーニング)の検査方法。最近開発され、従来よりも多くの種類を検査できる。



自民 草島 守之 議員

問 市民の生命を守る上で、新たな釧路地域防災計画と津波ハザードマップを一日でも早く策定すべきではないか。

答 道が発表した最大クラスの津波に対応する防災計画は、年度内に修正案を取りまとめ、25年度早々に道と協議を行いたいと考えている。また、ハザードマップは、24年度の完成を目標に作業を進めている。

委員会審査

3常任委・3特別委

今定例会では、3常任委員会と石炭対策特別委員会及び23年度の各会計決算審査特別委員会・企業会計決算審査特別委員会の審査が行われました。

その中から、主な審査内容をお知らせします。

総務文教常任委員会

土岐 政人 委員長

「釧路市地域防災計画の修正に関し、二つのレベルの津波を想定することで市民に混乱が生じる恐れがあり、分かりやすくするためには最大クラスの津波への対応とすべきではないか。」との質問がありました。

理事者は、「これは国が導入した考え方で、発生頻度が極めて低い最大ク

ラスの津波をレベル2、発生頻度が高く被害も大きい津波をレベル1に分けているため、市の防災計画も二つに分けての対応を考慮することとした。レベル2は避難を軸とした対策、レベル1はある程度のハード対策を想定しており、今後市民に対し丁寧に説明していきたい。」と答えました。



「津波避難訓練の様子」

経済建設常任委員会

鶴間 秀典 委員長

「鳥取南団地の1棟目の着工と入居予定、住民説明会の実施予定を聞きたい。また、建設予定地周辺には高い建物がないため、避難所としての役割も考慮して建設すべきと考えるが見解を聞きたい。」との質問がありました。

理事者は、「同団地は、25年度に実施設計、26年度から一部着工をはじめ、1棟目の住み替えは27年度を予定していることから、住民説明会は、

25年度末をめどに考えている。また、一時避難場所については、総務部と協議しながら、検討を進めていきたい。」と答えました。

民生福祉常任委員会

宮田 団 委員長

「市立釧路総合病院の外来患者のPET検査は、現在、釧路孝仁会記念病院に対し紹介患者として依頼しているが、これを同病院への委託に変更することによって、患者にとって何か変わることはあるのか。」との質問がありました。

理事者は、「現在の紹介によるPET検査は、釧路孝仁会記念病院で初診の扱いとなり、初診料がかかっているが、同病院への委託とすることによって、市立釧路総合病院での再診料の支払いが変わるため、これにより患者負担は診療報酬額で2000円軽減される。」と答えました。

石炭対策特別委員会

畑中 優周 委員長

「国会における関連法案審議の遅れから、産炭国からの外国人研修生受入事業の期間が短くなる中で、受入先である釧路コールマインではどのように予算執行をするのか。」との質問がありました。

理事者は、「一度に受け入れられる外国人研修生は限られるが、グループが入れ替わる際の空白期間を極力短くすることで、予定通りの人数の研修生を受け入れたいと聞いている。」と答えました。

各会計決算審査特別委員会

秋田 慎一 委員長

「二部の消防分団では、市が毎月発行する団員報酬の支給明細書を本人に渡さず、分団が発行した明細書で、年に一回のみ渡している実態があり、是正が必要ではないか。また、分団員個人の通帳を分団でまとめて管理しており、本人の承諾があるとしても適正な管理の観点からは問題であり、個人管理とするよう助言したほうがよいのではないかと。さらに一部の分団では、通帳を本人に5年間は返還しない旨の規定があり、指導により改正されたことであるが、本人から求めがあった場合は、通帳を返すように指導を徹底してほしいか。」との質問がありました。

市長は、「支給明細書は、分団員個人の口座に報酬を振り込んだ後、分団ごとにまとめて送っているが、分団員個人に対して発行しているものであり、本人に渡るように団長から各分団に対し指導してもらおうと考えている。また、通帳の管理については、分団の運営方法として、分団内での話し合いの上でそうした手法をとっているものであり、しっかり話をしながら、適切な分団運営を行ってほしい」と答えた。

企業会計決算審査特別委員会

佐藤 勝秋 委員長

「病院事業会計に関して、23年度において不良債務を解消できたことについて、どう捉えているか。また、このことが今後の病院経営でどのようなプラスの効果を生んでいくと考えているか。」との質問がありました。

理事者は、「病院改革プランのもと、財政的な視点に力点を置きながら、さまざまな取り組みの中で努力をしてきた結果、不良債務を解消することができた。一方で、まだ不十分な面もあるので、今後は、財政面だけでなく、患者の視点に立った取り組みや、職員の育成などに重点を置きながら病院経営を展開していきたい。」と答えました。

また、水道事業会計に関して、「老朽管の更新に関する進捗状況を聞きたい。」との質問がありました。

理事者は、「石綿セメント管については、阿寒町地区で約4.3キロメートル、白樺台地区で約0.8キロメートル残っており、阿寒町地区は25年度中に、白樺台地区は団地建て替え計画に合わせて更新する予定である。また、老朽铸铁管については、旧釧路市地区で約79キロメートル残っており、幹線管路を中心に更新していく。」と答えました。

【各会計決算審査特別委員】

◎秋田 慎一 ○三木 均 草島 守之
鶴間 秀典 金安 潤子 上口 智也
畑中 優周 梅津 則行 松尾 和仁
宮田 団

(◎委員長 ○副委員長)

【企業会計決算審査特別委員】

◎佐藤 勝秋 ○森 豊 山口 光信
高橋 一彦 松橋 尚文 村上 和繁
松永 征明 土岐 政人 大島 毅

(◎委員長 ○副委員長)

※4 代執行とは、法律などで命じられた義務が実行されない場合、市などの行政が代わりにそれを行い、その費用を本来実行すべき者から徴収すること。
※5 セクシャルマイノリティとは、身体的・社会的性別に違和感を持つ人、先天的に身体的性別が不明瞭な人、性的な意識が同性や両性に向かう人など、性的少数者ともいう。
※6 PET検査とは、がんの早期発見のために行われる検査。PETは、ポジトロン・エミッション・トモグラフィー(Positron Emission Tomography)の略で、陽電子放射断層撮影という意味。

平成24年 第5回 9月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(認定・同意・承認)となったもの (27件)

市長提出議案			
予算	平成24年度介護保険特別会計補正予算	条例	防災会議条例及び災害対策本部条例の一部を改正する条例
	平成24年度動物園事業特別会計補正予算	契約	工事請負契約の締結に関する件(3件)
	平成24年度病院事業会計補正予算	人事	教育委員会委員の任命について同意を求める件 公平委員会委員の選任について同意を求める件
決算	平成23年度病院事業会計決算認定の件	その他	訴えの提起の件
	平成23年度水道事業会計決算認定の件		土地処分の件
	平成23年度工業用水道事業会計決算認定の件		区域外道路認定の承諾の件
	平成23年度公設地方卸売市場事業会計決算認定の件		水産港湾空港部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件 湿原の風アリーナ釧路の指定管理者の指定の件
条例	地域協議会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	専決処分	平成24年度一般会計補正予算
	市立国民健康保険音別診療所条例の一部を改正する条例		
	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例		
議員提出議案			
規則	市議会会議規則の一部を改正する規則		
意見書	自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか4大臣)		
	中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか2大臣)		
	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか8大臣)		

◎ 賛否が分かれたもの (4件)

○賛成 ×反対

市長提出議案									
件名	会派名[()内は議員数]※	自民ク(6)	市民連(6)	公明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(2)	政進会(2)	審議結果
予算	平成24年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
決算	平成23年度各会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	認定
	平成23年度下水道事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	認定
	平成23年度港湾整備事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	認定

※自民クの議員数は7人ですが、黒木議長が採決に加わっていないため6人としています。

◎ 継続審査となったもの(請願・陳情) (3件)

件名	提出年月日	付託委員会
釧路市の小中学校の給食に放射能対策の拡充を求める件 [趣旨説明あり]	平成24年9月7日	総務文教常任委員会
公契約法の制定を求める意見書の件	平成24年3月7日	総務文教常任委員会
釧路市の保育園の給食に放射能対策を求める件	平成24年3月7日	民生福祉常任委員会

・[趣旨説明あり]とは、委員会審査の際に、陳情者より趣旨説明を行ったものを示しています。

学生の皆さんに市議会の役割と市政への関心を深めてもらおうと、10月7日(日)、釧路公立大学の大学祭に参加する形で「出前・議会報告会」を開催いたしました。開催にあたっては実行委員会メンバーに全面的なご協力をいただきました。

大学祭の雰囲気合わせたオープニングをと、参加議員を某テレビ番組のテーマ音楽にのって登場させるなど工夫を凝らしました。市議会全般について説明をした後の意見交換会では、まちづくりに関して若い視点での斬新かつ鋭い質問が飛び、改めて若い発想の重要性を実感した次第です。

これからも市議会の動きに関心を持っていただき、将来はぜひ市政に参加されるようお話しして、出前・議会報告会を終了しました。

(文責・金安潤子 議会広報特別委員)



「意見交換会の様子」

釧路公立大学
出前・議会報告会